

MTV
インストールマニュアル
V1.0J

MTV
インストールマニュアル
Version 1.0J
November 18, 2002
Copyright © 2002 Canopus Co., Ltd.
All rights reserved.

canopus

ご使用前に

■絵表示について

本製品を安全に正しくお使いいただくために、以下の内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

人が死亡または重傷を負う恐れのある内容を示しています。

注意

けがをしたり財産に損害を受ける恐れのある内容を示しています。

■絵表示の意味



この記号はしてはいけないことを表しています。



この記号はしなければならないことを表しています。



この記号は気をつける必要があることを表しています。

■ご購入製品を使用される際の注意事項

ここでは、ご購入製品を使用されるときにご注意いただきたい事柄について説明しています。

警告

●健康上のご注意

ごくまれに、コンピュータのモニタに表示される強い光の刺激や点滅によって、一時的に目のかん・意識の喪失などが引き起こされる場合があります。こうした経験をこれまでになされたことがない方でも、それが起こる体質をもっていることも考えられます。こうした経験をお持ちの方は、本製品を使用される前に必ず医師と相談してください。

●製品のご利用についての注意事項

医療機器や人命に関わるシステムでは、絶対にご利用にならないでください。製品の性質上、これらのシステムへの導入は適しません。



●製品の取り付けおよび取り外しに関する注意事項

製品の取り付けおよび取り外しを行う場合、必ずパソコン本体および周辺機器の電源を切り、さらに電源ケーブルをコンセントから抜いた状態で行ってください。

パソコン本体および周辺機器の電源を入れたまま、製品を取り付けたり取り外したりした場合、製品やパソコン本体、周辺機器および周辺機器に接続されている機器の一部が破壊される恐れがあります。また、パソコン本体および周辺機器の電源ケーブルをコンセントから抜かずにパソコン本体や周辺機器の筐体(電源ユニットなど)、機器の金属部分に触れた場合には感電する恐れがあります。



●静電気に関する注意事項

製品に静電気が流れると製品上の部品が破壊される恐れがあります。各コネクタや部品面には直接手を触れないでください。

静電気は衣服や人体からも発生します。製品に触れる前に、一旦接地された金属製のものに触れてください(体内の静電気を放電することになります)。



注意



●消費電流に関する注意事項

複数の拡張ボードをパソコンに取り付けるときは、ご購入製品を含めたすべての製品の消費電流の合計がパソコンの最大供給電流を超えていないことを必ず確認してください。全ボードの消費電流の合計がパソコンの最大供給電流を超えたりするなどの動作条件を満たさない環境で使用し続けると、システムが正常に動作しない場合やシステムに負荷がかかり、パソコンが故障する原因となる恐れがあります。

消費電流のわからない製品については、その製品の取扱説明書をご覧いただくか、メーカーに直接お問い合わせいただいでお確かめください。



●他社製品と併用されるときの注意事項

他社製品と併用されるとご購入製品が正常に動作しないことがあり、そのためにシステムが本来の目的を達成することができないこともあります。あらかじめ、製品単体の環境でご購入製品が正常に動作することをご確認ください。また、他社製品との併用によってご購入製品が正常に動作しないのであれば、その他社製品と購入製品との併用はお止めください。



●その他の注意事項

製品は指定された位置に指示通り取り付けてください。指示通りに取り付けられていない場合、製品の金属部分とパソコンの金属部分が接触してショートするなどの要因で、製品やパソコン本体・周辺機器が破壊される恐れがあります。製品を取り扱うときは、手など皮膚を傷つけないよう十分にご注意ください。ハードウェアの仕様上、製品のパネル、コネクタ、エッジ、裏面は金属のピンが、突出していることがあります。製品を取り付けたり取り外したりするときは、製品全体を軽く包み込むようにお持ちください。

動作中の製品は熱により非常に熱くなります。長時間使用した製品に手を触れる際には、十分にご注意ください。



ご注意

- (1) 本製品の一部または全部を無断で複製することを禁止します。
- (2) 本製品の内容や仕様は将来予告無しに変更することがあります。
- (3) 本製品は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気付きの事がございましたら、当社までご連絡ください。
- (4) 運用した結果については、(3)項にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。
- (5) ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。
- (6) 本製品付属のソフトウェア、ハードウェア、マニュアル、その他添付物を含めたすべての関連製品に関して、解析、リバースエンジニアリング、デコンパイル、ディスアセンブリを禁じます。
- (7) カノープス、CANOPUS/カノープスおよびそのロゴは、カノープス株式会社の登録商標です。
- (8) Microsoft、Windowsは米国マイクロソフト・コーポレーションの登録商標です。また、その他の商品名やそれに類するものは各社の商標または登録商標です。
- (9) iEPGおよびiEPGロゴは、ソニー株式会社の商標です。



表記について

- 本書はMTV1200HX、MTV800HXのセットアップ手順、ソフトウェアのインストール方法および基本操作について説明しています。アプリケーションの操作方法については、別冊のユーザーズマニュアルと、インストール後に作成されるオンラインマニュアルも併せてご参照ください。
- 本書に記載されていない情報が記載される場合がありますので、ディスクに添付のテキストファイル・オンラインマニュアルも必ずお読みください。
- 本書での説明と実際の運用方法とで相違点がある場合には、実際の運用方法を優先するものとします。
- 本書はパソコンの基本的な操作を行うことができる方を対象に書れています。特に記載の無い操作については、一般的なパソコンの操作と同じように行ってください。
- 本書ではMicrosoft® Windows® 2000 operating systemおよびMicrosoft® Windows® XP operating systemをWindows 2000、Windows XPと表記します。
- 説明の便宜上、実際の製品とイラスト及び画面写真が異なる場合があります。画面写真は開発中のものです。
- 本書はMTV1200HX、MTV800HXとの共通マニュアルです。MTV1200HX、MTV800HXに共通の内容については、MTV1200HXと表記しています。

ご使用方法や、この内容について不明な点、疑問点などがございましたら、カノープス株式会社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

カノープス株式会社

〒651-2241

神戸市西区室谷1-2-2

テクニカルサポート

TEL. 078-992-6830

祝祭日および当社指定休日を除く月～金

10:00～12:00、13:00～17:00

目次

第1章 確認	1
1. はじめに	2
使用許諾契約書について	2
ご使用に当たっての留意事項	2
パッケージ内容の確認	3
■MTV1200HX 同梱物	3
■MTV800HX 同梱物	3
■MTV1200HX/MTV800HX 同梱物(共通)	4
オンラインユーザー登録について	4
2. 動作環境の確認	5
パソコン本体について	5
■MTV1200HX 動作環境	5
■MTV800HX 動作環境	6
対応OS環境	6
当社ホームページについて	6
制限事項について	6
■再生中の動作について	6
割り込み(IRQ)について	7
■割り込み(IRQ)の確認(Windows 2000の場合)	7
■割り込み(IRQ)の確認(Windows XPの場合)	8
第2章 ボードの装着	11
1. MTVの装着	12
装着前の確認	12
装着の手順	13
2. 配線と接続	16
接続コネクタ各部の名称と機能	16
TV用アンテナ線の接続	17
■壁面にアンテナ端子が付いている場合	17

■アンテナ線が1本の場合	17
■アンテナ線が2本の場合	17
■アンテナ線に平行フィーダ線を使用している場合	18
ビデオ入力端子の接続	18
オーディオ入力端子の接続	19
オーディオ出力端子の接続	20

第3章 インストール 21

1. インストール	22
準備	22
アプリケーションの一括インストール	23
Plus100 Software Encoder のインストール	31
CiRAgent の設定	33
2. インストール後の確認	36
確認の手順	36
■インストールの確認 (Windows 2000 の場合)	36
■インストールの確認 (Windows XP の場合)	37
リソース	38
■リソースの競合の確認	38
■リソース (割り込み) の変更	38
3. アンインストール	39

第1章

確認

この章では、MTVのセットアップを行う前に確認していただきたい事項やご注意いただきたい事項について説明します。

1. はじめに 2ページ
2. 動作環境の確認 5ページ

1 はじめに

— 使用許諾契約書について —

当社製品をご購入いただき、ありがとうございます。本製品をお使いいただくにあたって、まずはじめに付属の『Support Service Manual』のソフトウェア使用許諾契約書をお読みください。本製品に付属のソフトウェアをご利用いただくには、この使用許諾契約書の内容にご同意いただく必要があります。この使用許諾契約にご同意いただけない場合や、ご不明な点がありましたら、本書以外のパッケージを開封せずに下記カスタマーサポートまで書面にてご連絡ください。

このソフトウェア使用許諾契約は、お客様が『ディスクが入っている封筒』を開封された時点で内容にご同意いただいたものとさせていただきます。

カノープス カスタマーサポート

〒651-2241 神戸市西区室谷1-2-2 カノープス株式会社

— ご使用に当たっての留意事項 —

ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。

製品本来の使用目的および当社が提供を行っている使用環境以外での動作は保証いたしかねます。

CPUなどを定格外でご使用の場合、本製品の動作保証は一切いたしかねます。

パッケージ内容の確認

MTV1200HXもしくはMTV800HXのパッケージの中に、p. 3～p. 4の付属品が入っていることを確認してください。製品の梱包には万全を期しておりますが、万一、不足しているものがありましたら下記カスタマーサポートまでご連絡ください。

カノープス カスタマーサポート

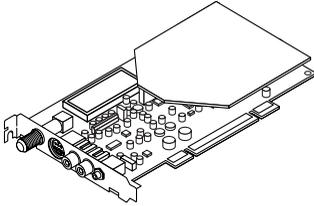
電話:078-992-5846

※ 月曜～金曜 10:00～12:00/13:00～17:00

土日祝日および当社指定休日を除く

■ MTV1200HX 同梱物

ボード本体



S/コンポジット変換ケーブル

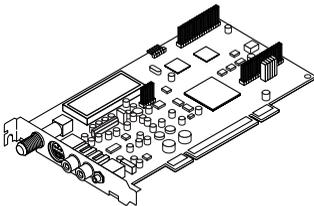


サウンドカード内部接続ケーブル



■ MTV800HX 同梱物

ボード本体



S/コンポジット変換ケーブル



サウンドカード内部接続ケーブル



■ MTV1200HX/MTV800HX 同梱物(共通)

ディスク/バンドルソフトウェア

MTV1200HXもしくはMTV800HXをお使いいただくためのドライバやアプリケーションなどが付属しています。これらは、封筒の中に収められています。この封筒を開封する前に、別途付属している『Support Service Manual』の中のソフトウェア使用許諾契約の項目をお読みください。

付属しているディスクについては、封筒内の『MTV1200HXに付属のメディア』もしくは『MTV800HXに付属のメディア』をご参照ください。

マニュアル

- MTVインストールマニュアル(本書)
- MTVユーザーズマニュアル
- Support Service Manual

ユーザー登録カード・ユーザー登録控え兼製品保証書

本製品に関するさまざまなサービスをお受けいただくために、ぜひユーザー登録を行ってください(ご登録いただけていない場合には、一部のサービスについてお受けいただけない場合がございます)。当社よりご提供させていただいているサービスについては『Support Service Manual』をご覧ください。

ユーザー登録カードの各項目に必要事項を記入し、ユーザー控えの部分を切り離して切手を貼らずにポストへ投函してください。切り離れたユーザー控えは、ご購入いただきました製品の所有者であることを証明するものになりますので、本書と併せて大切に保管してください。また、本製品は当社ホームページにおいてオンラインユーザー登録も承っております。詳しくは『Support Service Manual』およびオンラインユーザー登録ページ(<http://www.canopus.co.jp/tech/regist.htm>)をご覧ください。

本製品の保証書は、ユーザー登録カード・ユーザー登録控えとの兼用となっています。ユーザー登録控え兼製品保証書は、製品の動作確認や修理をお受けいただく際に必要になります。紛失された場合でも再発行はいたしませんので、大切に保管してください。

○ オンラインユーザー登録について

お客様がインターネットに接続できる環境であれば、ユーザー登録カードをご投函いただかなくとも当社ホームページ上でユーザー登録することができます。オンラインユーザー登録ページ(<http://www.canopus.co.jp/tech/regist.htm>)にアクセスしていただき、是非ご登録ください。

2 動作環境の確認

本製品をお使いいただく前に、MTV1200HXもしくはMTV800HXを装着してお使いいただけるパソコン本体の環境を確認してください。

パソコン本体について

以下の条件を満たしている場合でも、パソコン本体の問題によって正常に動作しない場合があります。以下に書かれている条件を満たしているすべてのパソコンでの動作を保証しているものではありません。

■ MTV1200HX 動作環境

CPU	Intel Pentium II, Pentium III, Pentium4 / Intel CeleronAMD Athlon, AthlonXP, AthlonMP. / AMD Duron Pentium II 300MHz または同等以上の性能を持ったCPUが必要です。 ※ 上記は、TVのライブ視聴と録画を行うために最低限必要なPC環境です。すべての機能の動作を保証するものではありません。
PCI	空きPCIバススロットが1つ必要 PCI Ver2.1以上
CD-ROMドライブ	ソフトウェアのインストールに、CD-ROMを読み込み可能なドライブが必要
メモリ	128MB以上(256MB以上を推奨)
ハードディスク	UltraATA 33以上の転送速度を持ちNTFSファイルシステムでフォーマットされたもの(UltraATA 100以上の転送速度を持つものを推奨)。
ディスプレイカード	800x600ドット・HighColor以上の表示ができ、DirectDraw のオフスクリーンによるオーバーレイに対応したものがが必要です。(当社製SPECTRAシリーズを推奨)
サウンドシステム	WDMドライバで動作し、アナログライン入力を持つもの(48kHz出力に対応するものを推奨)
DirectX	DirectX8.1以降
インターネット接続環境	ユーザー登録、サポート、ソフトウェアのアップデートに必要

■ MTV800HX 動作環境

CPU	Pentium III, Pentium4 / Intel CeleronAMD Athlon, AthlonXP, AthlonMP. / AMD Duron Pentium III 600MHz または同等以上の性能を持ったCPUが必要です。 ※ 上記は、TVのライブ視聴と録画を行うために最低限必要なPC環境です。すべての機能の動作を保証するものではありません。
PCI	空きPCIバススロットが1つ必要 PCI Ver2.1以上
CD-ROMドライブ	ソフトウェアのインストールに、CD-ROMを読み込み可能なドライブが必要
メモリ	128MB以上(256MB以上を推奨)
ハードディスク	UltraATA 33以上の転送速度を持ちNTFSファイルシステムでフォーマットされたもの(UltraATA 100以上の転送速度を持つものを推奨)。
ディスプレイカード	800x600ドット・HighColor以上の表示ができ、DirectDraw のオフスクリーンによるオーバーレイに対応したものがが必要です。(当社製SPEC-TRAシリーズを推奨)
サウンドシステム	WDMドライバで動作し、アナログライン入力を持つもの(48kHz出力に対応するものを推奨)
DirectX	DirectX8.1以降
インターネット接続環境	ユーザー登録、サポート、ソフトウェアのアップデートに必要

○ 対応OS環境

- マイクロソフト Windows 2000 Professional日本語版
- マイクロソフト Windows XP Home Edition日本語版
- マイクロソフト Windows XP Professional日本語版

○ 当社ホームページについて

MTV1200HXをはじめとする当社の最新情報をホームページ(<http://www.canopus.co.jp>)にて発信しています。最新のドライバ、ユーティリティ、製品マニュアル(PDF形式)、FAQなどを公開していますので、当社ホームページに是非アクセスしていただき、快適なパソコン環境を実現してください。

○ 制限事項について

■ 再生中の動作について

ハードディスクのシークなどによる音の途絶・画像のコマ落ちが発生する場合があります。再生時のパフォーマンスは、お使いのパソコン環境により異なります。

割り込み (IRQ) について

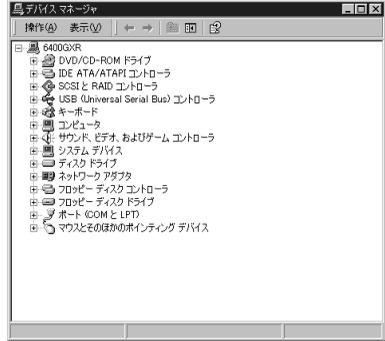
本製品をご使用いただくには、IRQの空きが1つ以上あることを推奨します。

■ 割り込み (IRQ) の確認 (Windows 2000 の場合)

1

[スタート]メニューから[設定]→[コントロールパネル]へ進み、[システム]のアイコンをダブルクリックし、[システムのプロパティ]を表示してください。

→ [ハードウェア]タブの[デバイスマネージャ]をクリックします。



2

デバイスマネージャの[表示]メニューから[リソース(種類別もしくは接続別)]を選択してください。



3

[割り込み要求 (IRQ)] をダブルクリックしてください。

→ 割り込み (IRQ) の空いている(使用されていない) 番号を確認します。

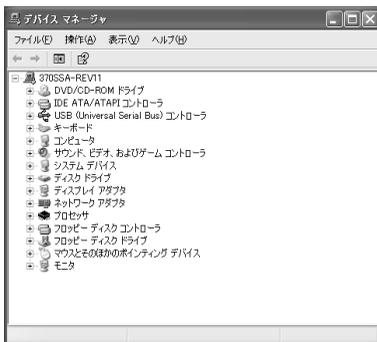


■ 割り込み (IRQ) の確認 (Windows XP の場合)

1

[スタート]メニューの[コントロールパネル]から[パフォーマンスとメンテナンス]へ進み、[コンピュータの基本的な情報を表示する]を選択してください。もしくは[スタート]メニューの[マイコンピュータ]上で右クリックし、[プロパティ]を選択してください。

→ [ハードウェア]タブの[デバイスマネージャ]をクリックします。



2

デバイスマネージャの[表示]メニューから[リソース(種類別もしくは接続別)]を選択してください。



3

[割り込み要求 (IRQ)] をダブルクリックしてください。

→ 割り込み (IRQ) の空いている (使用されていない) 番号を確認します。



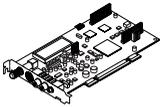
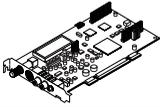
第1章. 確認

注意

MTV800HX用オプション『GME500』について(別売)

『GME500』はMTV800HXをハードウェアエンコーダーおよびゴーストリデューサー機能を追加するためのオプションボードです。

MTV1200HXとMTV800HXの商品構成の差異は以下の図のようになります。

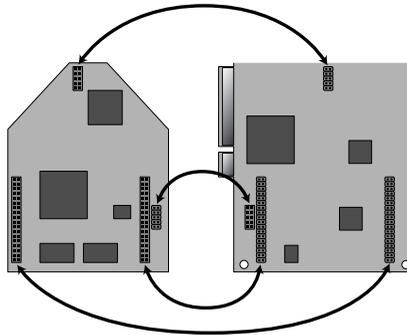
	Base Board	GME500	Plus 100
MTV1200HX			×
MTV800HX		 追加可能	

※ Plus100とは…MTV800HXに付属しているPlus100 Software Encoderのことです。

注意

MTV800HX用オプション『GME500』を装着する場合

『GME500』をMTV800HXに装着する場合は、『GME500』の4箇所のピンと、MTV800HXの4箇所のピンが合うよう形状をよくお確かめの上、装着してください。



第2章

ボードの装着

この章では、MTVをパソコンへ装着する方法および装着したMTVへの配線の接続方法について説明します。

1. MTVの装着 12ページ
2. 配線と接続 16ページ

1 MTVの装着

ボードの装着を行う前に、作業を行うことができるほこりのない乾いたスペースを準備してください。また、プラスドライバー、マイナスドライバーと取り外したねじを入れておく空き箱を用意してください。

装着前の確認

テレビ受信用のアンテナとアンテナケーブルをご用意ください。
アンテナケーブルは、市販のF型コネクタプラグ付きアンテナケーブルが、先端にF型コネクタを取り付けたアンテナケーブルを使用してください。



F型コネクタプラグ



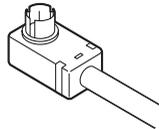
F型コネクタプラグ付きアンテナケーブル

F型コネクタプラグやF型コネクタプラグ付きアンテナケーブルは、本製品には付属していませんので、ご使用のアンテナ線に合わせて、別途お買い求めください。



アンテナ線とパソコンを接続するときは、F型コネクタプラグ付きのアンテナケーブルを使用することをお勧めします。

下図に示す形状のプラグをパソコンとの接続に使用した場合、ノイズの影響を受けやすいため、テレビ放送の受信が正常に行われない場合があります。



装着の手順

MTV1200HX/MTV800HXをパソコンに装着する手順を説明します。

1 パソコンを終了して電源を切ってください。

2 電源ケーブルとモニターケーブルを取り外してください。



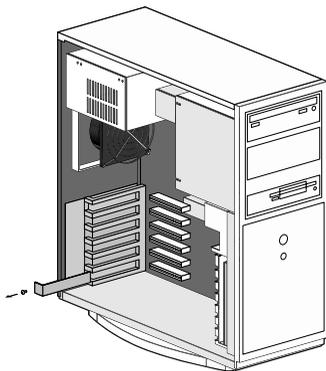
取り外す際に、どのケーブルがどのコネクタに接続されていたか、メモをしておくとお後で元に戻す際に便利です。

3 パソコンのカバーを取り外してください。

→ 取り外し方法については、パソコン本体に付属のマニュアルをご覧ください。

4 PCIスロットのカバーを取り外してください。

→ ドライバーを使用してPCIコネクタの位置のスロットカバーを固定しているねじを取り外してください。取り外したねじは手順6で使用しますので、空き箱になくさないように入れておいてください。取り外したスロットカバーは使用しませんので、なくさないように保管してください。



他のボードのノイズの影響を可能な限り避けるために、他のボードと離れた位置(たとえば一番端にあるPCIスロット)に装着することをお勧めします。

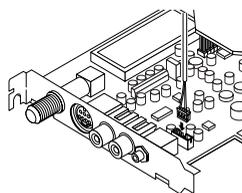
5

MTVとサウンドボードを内部接続する場合、付属の内部接続ケーブルを使用して接続してください。

MTVにはコネクタが1個のみの側を接続します。サウンドボードにより、コネクタの形状やピン配列が異なります。3個のコネクタのうち、形状と配列が一致するものをサウンドボードに接続してください。

→ MTVの基板にあるAUDIO OUT端子とサウンドボードの基板上にあるAUDIO INなどの入力端子（サウンドボードにより呼称は異なります）に接続します。接続時には、コネクタの形状、コード色に気をつけてください。一般的なサウンドボードでは、コネクタにR、L、G、などと刻印されています。左記のように接続してください。

※ 外部接続する場合は、この作業は必要ありません。



赤：右チャンネル (R)

白：左チャンネル (L)

黒：グラウンド (G)

注意

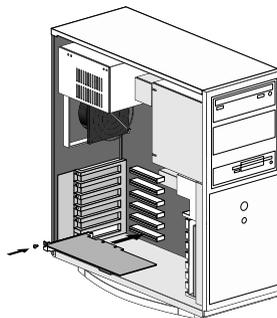
内部接続ケーブルの接続方向を間違わないように気をつけてください。内部接続ケーブルの接続を間違えると、片側のスピーカーから音が出ない、左右の位相が入れ替わるなどの問題が発生します。

6

MTVをPCIスロットに差し込み、手順4で取り外したねじを使用し、MTVのスロットカバーを固定してください。

→ 金メッキ端子が見えなくなるまでしっかり差し込んでください。何かに引っかかってうまく差し込むことができない場合には、無理に押し込まないようにしてください。この場合、MTVをいったん取り外して、引っかかるの原因を確認してください。

※ どうしても何かに引っかかって装着することができない場合には、物理的な問題でMTVを使用することはできません。MTVはPCIの規格によって設計されているボードですので、パソコン本体に何らかの問題がある可能性があります。この場合には一度パソコン本体メーカーまたはマザーボードメーカーまで対策をご相談ください。



注意

スロットカバーとパソコンの背面パネルの間に隙間があると受信信号にノイズが混入し、映像に縞が入るなどの影響がより大きくなる場合があります。スロットカバーとパソコンの背面パネルの間の隙間は必ず埋めてください。また、空いているスロットのスロットカバーと、パソコン本体のカバーも確実に閉めてください。

7

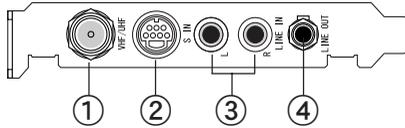
パソコンのカバーを閉じ、電源ケーブルとモニターケーブルを接続してください。

2 配線と接続

MTVの接続コネクタへの、配線と接続方法について説明します。

接続コネクタ各部の名称と機能

MTVには以下の接続コネクタがあります。



① VHF/UHF (TVアンテナ接続端子)

TV受信用アンテナの接続端子です。

② VIDEO IN (ビデオ入力端子)

同梱のS/コンポジット変換ケーブルを利用してコンポジット入力することもできます。

③ LINE IN L/R (オーディオ入力端子)

音声入力端子です。

ビデオなどの接続機器の音声出力端子と接続します。

④ LINE OUT (オーディオ出力端子)

音声出力端子です。

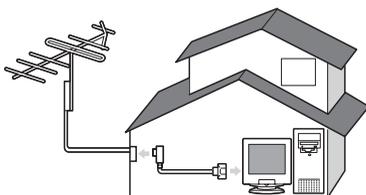
サウンドカードに接続する場合、この端子とサウンドボード側のライン入力端子とを接続します(サウンドカードとの内部接続を行っている場合は、何も接続しないでください)。

TV用アンテナ線の接続

テレビ受信用アンテナの接続を行います。
現在使用しているアンテナ線の種類によって、接続方法が変わります。以下の接続方法の中から、現在使用している環境に合った手順を見つけ、その手順に合わせて接続を行ってください。

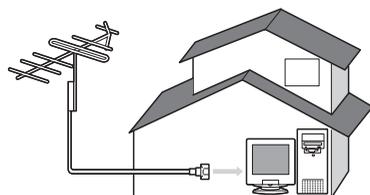
■ 壁面にアンテナ端子が付いている場合

壁面にアンテナ端子だけがある場合は、F型コネクタプラグ付きアンテナケーブルを使用します。MTV側のVHF/UHF端子にF型コネクタプラグの付いた方を接続します。



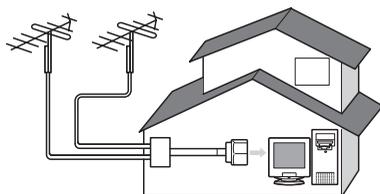
■ アンテナ線が1本の場合

アンテナ線が1本(UHF、VHFのみ、またはUHF/VHF混合)だけの場合は、アンテナ線の先端にF型コネクタプラグを取り付け、MTVのVHF/UHF端子に接続します。



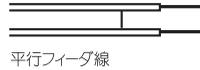
■ アンテナ線が2本の場合

アンテナ線が2本(UHFとVHF)の場合は、F型コネクタプラグの他に、U/V混合器が必要です。U/V混合器を取り付けてアンテナ線を1本にし、アンテナ線の先端にF型コネクタプラグを取り付け、MTVのVHF/UHF端子に接続します。



■ アンテナ線に平行フィーダ線を使用している場合

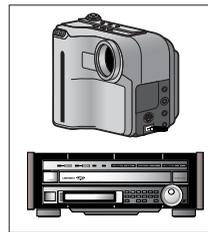
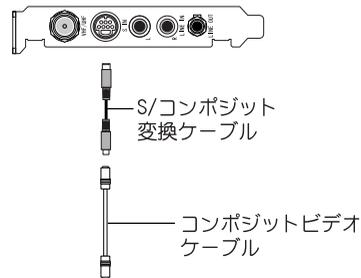
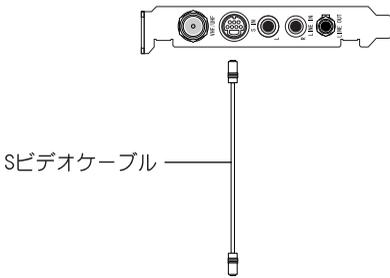
アンテナ線に平行フィーダ線(右図参照)を使用している場合は、F型コネクタプラグの他に、整合器が必要です。整合器を使用してアンテナ線と同軸ケーブルに変更してください。整合器の詳細については、ご購入時に販売店などでご確認ください。



分配器を使用して、アンテナ線を複数の機器に接続することも可能です。分配した配線の1本に、F型コネクタプラグを取り付け、MTVのVHF/UHF端子に接続します。ただし、分配によって信号が弱くなる場合などは、アンテナブースターが必要になることもあります。詳しくは、分配器、アンテナブースター購入時に販売店などでご確認ください。

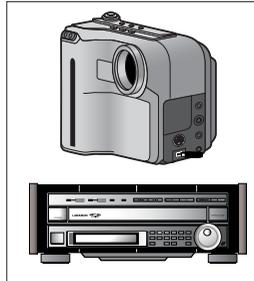
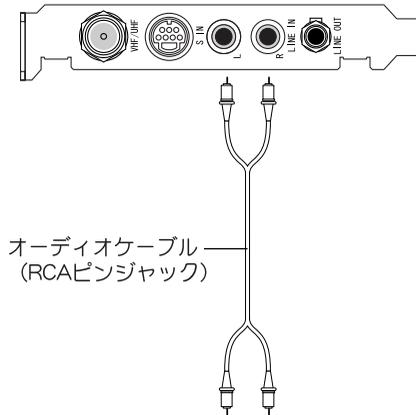
— ビデオ入力端子の接続 —

外部ビデオ機器の出力を録画したい場合には、Sビデオケーブルもしくはコンポジットビデオケーブルを使用して、MTVのVIDEO IN端子と接続を行います。コンポジット入力する場合は、同梱のS/コンポジット変換ケーブルを使用します(Sビデオケーブルおよびコンポジットビデオケーブルは別途お買い求めください)。



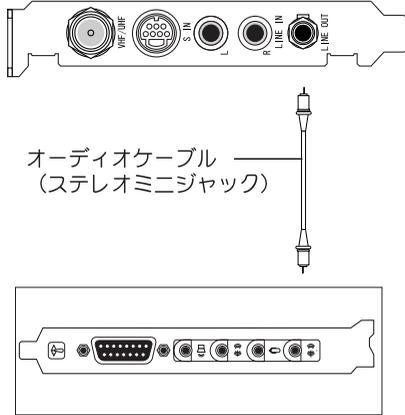
オーディオ入力端子の接続

MTVのLINE IN端子(R、Lの2箇所)とビデオなどのライン出力端子を接続します。接続時は、MTVのLINE IN端子のR側に、接続する機器のライン出力端子のR側が、LINE IN端子のL側に、接続する機器のライン出力端子のL側が来るように接続してください(オーディオケーブルは別途お買い求めください)。



オーディオ出力端子の接続

MTVとサウンドボードを外部接続する場合、MTVのLINE OUT端子とサウンドボードのライン入力端子を接続します(オーディオケーブルは別途お買い求めください)。サウンドボードと内部接続を行っている場合はこの接続は必要ありません。



注意

MTVとサウンドボードは、内部接続/外部接続いずれかの方法で必ず接続してください。
接続していない場合は、TV受信時や外部ビデオ入力時の音声がなくなります

第3章

インストール

この章では、MTVのドライバとアプリケーションのインストール方法について説明します。

- | | | |
|----|------------|-------|
| 1. | インストール | 22ページ |
| 2. | インストール後の確認 | 36ページ |
| 3. | アンインストール | 39ページ |

1 インストール

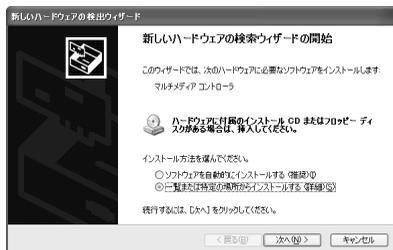
準備

インストール作業を開始する前に、現在起動しているすべてのアプリケーションや常駐ソフトウェアを終了してください。ここではWindows XP環境での手順を例に説明します。

- ※ お使いのOSにより画面は異なります。
- ※ Windows 2000環境では、DirectX8.1のインストールが必須となりますので、『MTV Series G-Spec. Software インストールCD DISC1』内の[Tools]→[DirectX]をインストールしてください。

1

ボードを装着してパソコンを起動すると、ハードウェアウィザードが起動しますので、[キャンセル]をクリックしてください。



CRM-1 と併用する場合には…

CRM-1 を装着した状態でインストールを行ってください。

CRM-1 を装着せずにインストールを行った場合、CRM-1 を使用するためのアプリケーション (Canopus RC Manager) は常駐しません。この場合、手動で [ProgramFiles] の [Canopus] → [FEATHER] を開き、[RcMan.exe] を起動するか、コンピュータの再起動を行ってください。



Windows XP環境において、ユーザーの切り替え([スタート]メニューから[ログオフ]へ進み、[ユーザーの切り替え]を選択)を行った場合の動作保証はいたしかねます。

アプリケーションの一括インストール

MTVに関連するアプリケーションを一括でインストールします。

Windows 2000/Windows XPとも同様の手順でインストールを行います。ここでは、Windows XP環境へのインストールを例に説明します。

- ※ インストールする場合は、システム設定の変更を行える資格を持つユーザーID (Administrator、コンピュータの管理者等)でログオンしてください。
- ※ インストール作業を開始する前に、現在起動しているすべてのアプリケーションや常駐ソフトウェアを終了してください。

1

『MTV Series G-Spec. Software インストールCD DISC1』をCD-ROMドライブにセットしてください。

注意

全てのインストールが終了するまで、『MTV Series G-Spec. Software インストールCD』をCD-ROMドライブから取り出さないでください。

2

CD-ROMが自動起動します。

※ CD-ROMが自動起動しない場合は、[スタートメニュー]から[プログラム]→[アクセサリ]→[エクスプローラ]と進んで『エクスプローラ』を起動し、CD-ROMを挿入したドライブを選択して開いてください。

3

[SetupMgr.exe]をダブルクリックしてください。

→ インストール画面と、インストール作業についての画面が表示されます。



注意

一括インストール時には、次のインストール画面が表示されます。



インストール中にこの画面を閉じると、インストール作業を中止してしまいますので、すべての作業が完了するまで画面を閉じないようにしてください。

4

「はい」をクリックしてください。



5

「続行」をクリックしてください。



6

「はい」をクリックしてください。
→ コンピュータを再起動します。



7

コンピュータの再起動後、右のダイアログが表示されますので、[続行]をクリックしてください。



8

[続行]をクリックしてください。



25

9

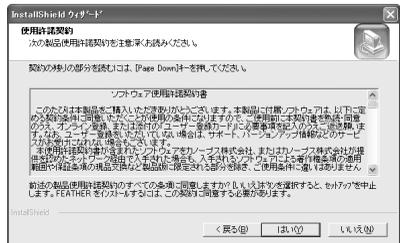
[次へ]をクリックしてください。



10

使用許諾契約が表示されますので内容をよくお読みの上、同意される場合のみ[はい]をクリックしてください。使用許諾に同意されない場合は、[いいえ]をクリックし、インストール作業を中断して当社カスタマーサポートまで書面にてご連絡ください。

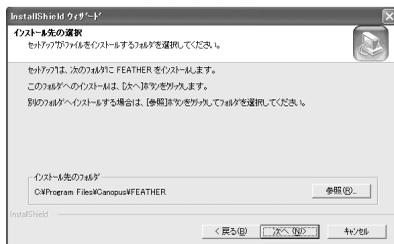
※ 使用許諾契約に同意されない場合、本ソフトウェアはお使いいただけません。



11

[次へ]をクリックしてください。

※ インストール先のフォルダを変更する場合は、[参照]をクリックし、フォルダを指定してください。



12

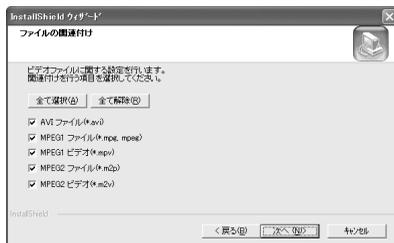
FEATHERのアイコンを登録するフォルダを選択後、[次へ]をクリックしてください。



13

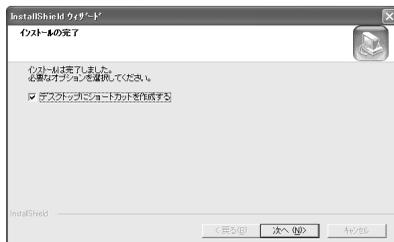
FEATHERに関連付けを行うアイテムを選択してください。

※ 選択可能な項目は、お使いの環境により異なります。



14

デスクトップにショートカットを作成する場合はチェックを付け、[次へ]をクリックしてください。



15

[完了]をクリックしてください。



16

[OK]をクリックしてください。



27

17

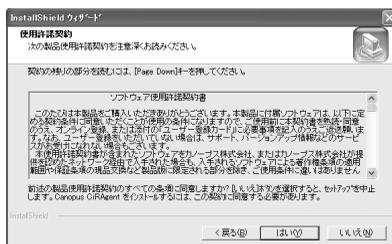
[次へ]をクリックしてください。



18

[使用許諾契約が表示されますので内容をよくお読みの上、同意される場合のみ[はい]をクリックしてください。使用許諾に同意されない場合は、[いいえ]をクリックし、インストール作業を中断して当社カスタマーサポートまで書面にてご連絡ください。

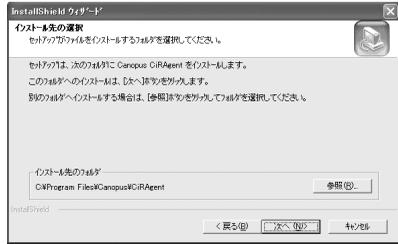
※ 使用許諾契約に同意されない場合、本ソフトウェアはお使いいただけません。



19

[次へ]をクリックしてください。

→ インストール先のフォルダを変更する場合は、[参照]をクリックし、フォルダを指定してください。



20

CiRAgentのアイコンを登録するフォルダを選択後、[次へ]をクリックしてください。



21

[完了]をクリックしてください。



22

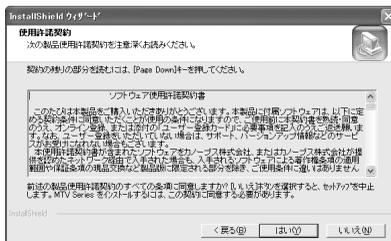
[次へ]をクリックしてください。



23

[使用許諾契約が表示されますので内容をよくお読みの上、同意される場合のみ[はい]をクリックしてください。使用許諾に同意されない場合は、[いいえ]をクリックし、インストール作業を中断して当社カスタマーサポートまで書面にてご連絡ください。

※ 使用許諾契約に同意されない場合、本ソフトウェアはお使いいただけません。



24

[次へ]をクリックしてください。
→ インストール先のフォルダを変更する場合は、[参照]をクリックし、フォルダを指定してください。



25

インストールするコンポーネントを選択し、[次へ]をクリックしてください。



26

MTVのアイコンを登録するフォルダを選択後、[次へ]をクリックしてください。
→ コピーを開始します。



27

必要なオプションを選択し、[次へ]をクリックしてください。

→ 選択するオプションにチェックを付けてください。

→ Readme.txtにはマニュアルに記載されていない事項が記載されていますので、インストール時に必ずお読みください。



インターネットに接続できる環境であれば、ユーザー登録をオンラインで行えます。

30

28

[はい、今すぐコンピュータを再起動します。]にチェックを付け[完了]をクリックしてください。



以上でアプリケーションの一括インストール作業は完了です。

MTV800HXをお買い上げのお客様は次頁の『Plus100 Software Encoderのインストール』を参照し、引き続きインストール作業を行ってください。MTV1200HXをお買い上げのお客様はここでインストール作業は完了です。

Plus100 Software Encoderのインストール

MTV800HXに付属している『Plus100 Software Encoder』をインストールします。Windows 2000/Windows XPとも同様の手順でインストールを行います。ここでは、Windows XP環境へのインストールを例に説明します。

- ※ インストールする場合は、システム設定の変更を行える資格を持つユーザーID (Administrator、コンピュータの管理者等)でログオンしてください。
- ※ インストール作業を開始する前に、現在起動しているすべてのアプリケーションや常駐ソフトウェアを終了してください。

1

『MTV Series G-Spec. Software インストールCD DISC2』をCD-ROMドライブにセットしてください。

注意

全てのインストールが終了するまで、『MTV Series G-Spec. Software インストールCD DISC2』をCD-ROMドライブから取り出さないでください。

2

CD-ROMが自動起動します。

※ CD-ROMが自動起動しない場合は、[スタートメニュー]から[プログラム]→[アクセサリ]→[エクスプローラ]と進んで『エクスプローラ』を起動し、CD-ROMを挿入したドライブを選択して開いてください。

3

[SoftEnc_Setup.exe]をダブルクリックしてください。



4

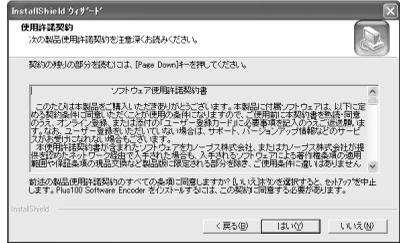
[はい]をクリックしてください。



5

[使用許諾契約が表示されますので内容をよくお読みの上、同意される場合のみ[はい]をクリックしてください。使用許諾に同意されない場合は、[いいえ]をクリックし、インストール作業を中断して当社カスタマーサポートまで書面にてご連絡ください。

※ 使用許諾契約に同意されない場合、本ソフトウェアはお使いいただけません。



6

[完了]をクリックしてください。



以上でPlus100 Software Encoderのインストール作業は完了です。

CiRAgent の設定

CiRAgent をインストールした後、各種設定を行います。

※ 本文中のアドレスは予告無く変更されることがあります。

1

インターネットで「テレビ王国」へ接続し、ユーザー登録をしてください。

→ 「テレビ王国」のURL は「http://www. so-net. ne. jp/tv/」です。i モードをご使用になる場合のURL は「http://imode. so-net. ne. jp/tv/」です。

→ ユーザー登録の手順については、「テレビ王国」HP のTOP ページにある「テレビ王国メンバーサービスとは」をご覧ください。

2

[スタート]メニューから[すべてのプログラム]へ進み、[Canopus CiRAgent]から[Canopus CiRAgent 設定]を選択してください。

※ Windows 2000 環境では、[スタート]メニューから[プログラム]へ進み、[Canopus CiRAgent]から[Canopus CiRAgent 設定]を選択します。



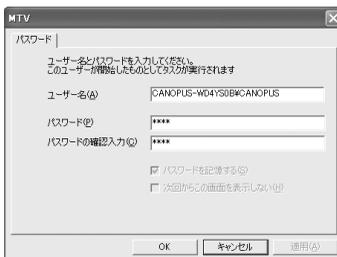
33

3

ユーザー名とパスワード、パスワードの確認入力を入力し、「OK」をクリックしてください。

→ 「TV 録画予約ツール画面」が表示されます。

MTV 予約録画での設定内容を共有するため、MTV 予約録画で設定していると設定画面は表示されません。MTV の設定を変更したときは、「Canopus CiRAgent 設定」を一度起動してください。

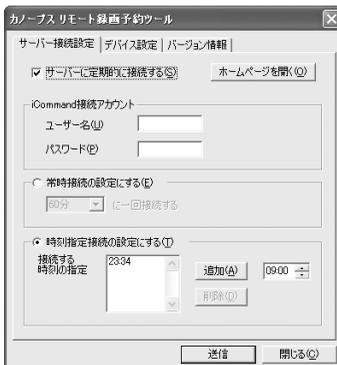


4

「サーバ接続設定」タブをクリックし、サーバ接続に関する設定を行います。

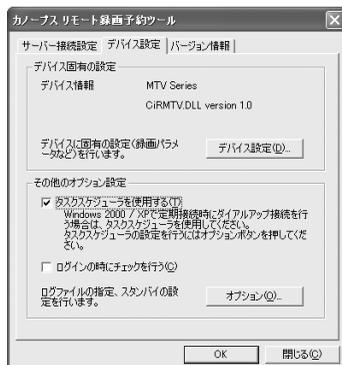
時刻指定接続の設定にする

指定する時間の0分には、1～9のいずれかしか設定できません。



5

「デバイス設定」タブをクリックし、デバイス設定に関する設定を行います。



タスクスケジューラを使用する

タスクスケジューラを使用するときには、ユーザー名とパスワードが必要です。

CiRAgentの定期的な接続には、サービスとして動作します。ただし、ダイアルアップ環境では、タスクスケジューラを使用する必要があります。

ログインにチェックを行う

タスクスケジューラを使用する場合、スタートアップでサーバーへの接続を行うことができます。この設定を行わない場合、再起動時にサーバーから得られる「次回接続時間」の情報が古いままになります。この情報は、一度サーバーへの接続が行われたときに更新されます。なお、タスクスケジューラを使用しない場合は、サービス起動後数分以内に自動的に接続を行います。

デバイス設定

「デバイス設定」をクリックすると、右の画面が表示されます。

録画品質の割り当て

[設定]をクリックすると「MTV録画設定」ウィンドウが開きます(次頁参照)。

地域選択

選択できる地域は、MTVが選択可能な地域とは異なります。

地域が選択肢にない場合は、近い地域を選択します。



サーバー側に情報が残っている状態で地域を変更した場合、一時的に処理が出来なくなることがあります。必ず、サーバー側に情報が残っていないことを確認してから変更してください。

第3章. インストール

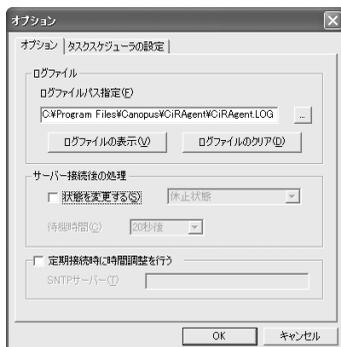
録画形式

録画する形式を選択します。MTV1200HXでは「MPEG3」が、MTV800HXでは「ソフトウェアMPEG」が選択されています。



オプション

「オプション」をクリックすると、右の画面が表示されます。



6

設定後は「OK」をクリックし、その後は画面の指示に従って設定してください。

以上で、CiRAgentの設定は完了です。

注意

設定後は、正しく予約録画できるかをテストしてください。予約録画方法は、ユーザーズガイドをご覧ください。

2 インストール後の確認

ドライバ、アプリケーションのインストールを完了し、再起動後にドライバが正常にインストールされたか確認してください。

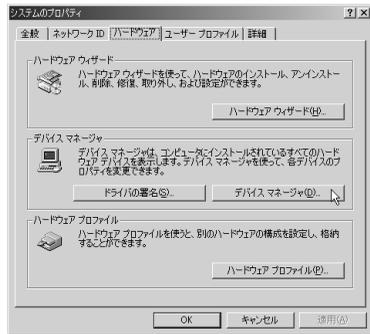
確認の手順

■ インストール後の確認 (Windows 2000 の場合)

1

[スタート]メニューから[設定] → [コントロールパネル]へ進み、[システム]のアイコンをダブルクリックしてください。

→ [システムのプロパティ]が表示されます。[ハードウェア]タブを選択し、[デバイス マネージャ]をクリックしてください。



2

[サウンド、ビデオ、およびゲームコントロール]をダブルクリックしてください。

→ [MTV Series GS Audio Capture Driver]、[MTV Series GS Video Capture Driver]および [MTV Series Kernel Mode Driver]、の頭に『!』や『×』のマークが表示されている場合、MTVのドライバが正常にインストールされていません。



※ 再インストール、リソース問題の解決やボード差し位置の変更などをお試しください。

■ インストール後の確認 (Windows XP の場合)

1

[スタート]メニューの[コントロールパネル]から[パフォーマンスとメンテナンス]へ進み、[コンピュータの基本的な情報を表示する]を選択してください。もしくは[スタート]メニューのマイコンピュータ上で右クリックし、[プロパティ]を選択してください。

2

[ハードウェア]タブを選択し、[デバイス マネージャ]をクリックしてください。



3

[サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ]をダブルクリックしてください。

→ [MTV Series GS Audio Capture Driver]、[MTV Series GS Video Capture Driver]および[MTV Series Kernel Mode Driver]、の頭に『!』や『×』のマークが表示されている場合、MTVのドライバが正常にインストールされていません。

※ 再インストール、リソース問題の解決やボード差し位置の変更などをお試しください。



リソース

■ リソースの競合の確認

p. 8[■割り込み(IRQ)の確認(Windows 2000の場合)], p. 9[■割り込み(IRQ)の確認(Windows XPの場合)]の手順を参照し、IRQの一覧を表示してください。競合もしくは共有(IRQ番号が同じ)しているデバイス類がないか確認してください。

■ リソース(割り込み)の変更

MTVと他のデバイス類のリソースが競合もしくは共有している場合、正常動作しないことがあります。以下の方法をお試しください。

- ・ 割り込みを共有する他の機器を取り外すか、他の機器のIRQの変更を行ってください(IRQステアリングフォルダとの共有は問題ありません)。
- ・ パソコン本体(マザーボード)のBIOSでリソースの設定を変更してください。BIOSの設定方法は各メーカーによって異なりますので、パソコン本体、マザーボードなどに付属の取扱説明書をご参照ください。



IRQの設定方法はパソコン、マザーボードなど各メーカーにより異なります。BIOSでPCIスロットごとに任意のIRQを割り当てるタイプや、特定のIRQをあらかじめ予約するタイプなどがあります。

3 アンインストール

MTVのアプリケーションを使用しなくなった場合、アンインストールすることができます。アプリケーションのアップデートを行う場合は、アンインストール後に新しいアプリケーションのインストールを行うようにしてください。ここでは、Windows XP環境でのアンインストールを例に説明します。

- ※ アンインストール作業を開始する前に、現在起動しているすべてのアプリケーションや常駐ソフトウェアを終了してください。
- ※ Windows 2000/Windows XP 環境へアンインストールする場合は、システム設定の変更を行える資格を持つユーザーID(Administrator、コンピュータの管理者等)でログオンしてください。

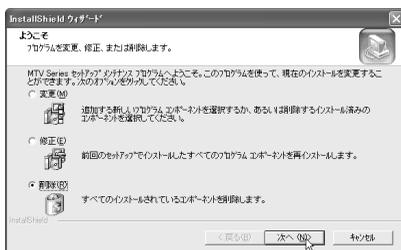
1 [スタート]メニューから[マイコンピュータ]へ進み、システムのタスクから[プログラムの追加と削除]をクリックしてください。

2 削除できるソフトウェアの一覧が表示されますので、[Canopus CiRAgent]、[Canopus FEATHER]、[Canopus Plus 100] (インストールしている場合)、または[MTV Series]を選択し、[変更と削除]をクリックしてください。

- ※ ここでは[MTV Series]を選択しています。[Canopus CiRAgent]、[Canopus FEATHER]または[Canopus Plus 100]を選択した場合も手順はほとんど同じです。



3 [削除]を選択し、[次へ]をクリックしてください。



4

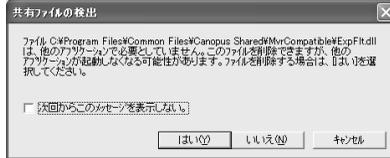
ファイル削除確認のメッセージが表示されますので、[OK]をクリックしてください。

→ アンインストールを開始します。



注意

アンインストール中に[共有ファイルの検出]画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。



5

[完了]をクリックしてください。



6

[閉じる]をクリックしてください。

→ アンインストールは完了です。



注意

アンインストールを行っても録画予約の内容は削除されませんが録画はできません。